

2013年度（平成25年度）特別勘定の現況

●投資環境(2013年度)

日本株式市場

日経平均株価は期初12,371円で始まりました。4月の日銀の金融緩和を受け外為市場で円安が進行し、主に本邦輸出企業の業績改善への期待から5月に株価は15,942円まで上昇しましたが、6月には、米FRB議長の量的緩和と早期縮小に関する発言や安倍首相の成長戦略への過度な期待の反動等の影響で、12,415円まで反落しました。その後は、一進一退を繰り返しながら下値を切り上げる展開となり、12月に外国為替市場において1米ドル＝105円台と円安が進む状況の中で、16,320円まで上昇し2007年12月以来の高値をつけました。年明け以降は、新興国通貨安等の影響で株価はやや下落し期末は14,827円で終了しました。

外国株式市場

期初、S&P500は1,569.18、FTSE100は6,411.74で始まりました。米国をはじめ世界各国では金融緩和方向の政策が採られる中、景気はゆるやかながら回復傾向を示し、市場ではリスクをとる動きから株価は堅調に推移し、5月にFTSE100は2000年1月以来の高値となる6,875.62をつけましたが、米FRB議長の量的緩和と早期縮小に関する発言後の6月にFTSE100は6,023.44まで反落しました。その後は、徐々に上値を切り上げ、1月には6,867.42と5月の高値に接近しました。S&P500も6月に下落する場面がありましたが、米国債務上限引き上げ合意や堅調な米企業業績、米金融緩和継続期待などを背景に株価は年末に向けて上昇傾向を示しました。年始以降の主に通貨安から生じた新興国懸念により株価が反落する局面もありましたが、年度末に向け株価は一段と上昇し、3月にS&P500は史上最高値更新となる1,883.97をつけました。期末は若干値を戻しS&P500が1,872.34、FTSE100は6,598.37で終了しました。

日本債券市場

10年国債利回りは期初0.59%で始まり、4月に日銀の黒田新総裁による金融緩和策の一環として、買入れ国債の年限長期化が決定されたことから、10年国債利回りは0.32%と過去最低水準を更新しました。その後、市場で進行する円安・株高の影響等で10年国債利回りは5月に0.99%まで上昇しましたが、日銀の大量の国債買入により徐々に需給が引き締まり、10月に0.58%まで再び低下しました。年末には円安・株高の影響で10年国債利回りは0.75%まで上昇し、期末は0.64%で終了しました。

外国債券市場

期初、米国10年国債利回りは1.87%、ドイツ10年国債利回りは1.28%で始まりました。米FRB議長の量的緩和と早期縮小に関する発言等により、9月に米国10年国債利回りは3.00%まで上昇しました。また、独連邦議会選挙の結果、連立政権樹立への懸念やイタリア政局不安等から、ドイツ10年国債利回りは9月に2.08%まで上昇しました。11月には、ECBによる予想外の利下げが実施され、その後一進一退で推移しましたが、年始以降の通貨安等から生じた新興国懸念により利回りは低下傾向を示し、期末には米国10年国債利回りは2.71%、ドイツ10年国債利回りは、1.56%で終了しました。

外国為替市場

期初、1米ドル＝94.21円で始まりました。4月に日銀が導入を決定した「量的・質的金融緩和」等を背景に、5月に1米ドル＝103.74円となりました。一方、米FRB議長の量的緩和と早期縮小に関する発言等の影響により、6月には1米ドル＝93.79円の円高水準となりました。しばらくもみ合いの後、GPIFの運用資産構成比見直しによる外貨建て資産への投資拡大や日銀の追加緩和期待等を背景に12月には1米ドル＝105.41円となり、2008年10月以来の円安水準となりました。年明け以降、新興国通貨下落等の影響でやや円高方向に振れ、1米ドル＝103.07円で期末を迎えました。また、ユーロにつきましては期初、1ユーロ＝120.65円で始まりました。景況感の改善等を受けユーロはゆるやかに上昇し、12月に1ユーロ＝145.69円となった後、1ユーロ＝141.96円で期末を迎えました。

●運用実績の推移および運用方針

- | | |
|-------------|---------------------------------------|
| ①当期の運用実績の推移 | 特別勘定の運用状況をご参照ください。 |
| ②当期の運用方針 | 当社は、特別勘定の運用方針に従い、特別勘定の運用を実施しました。 |
| ③今後の運用方針 | 当社は、今後とも、特別勘定の運用方針に従い、特別勘定の運用を行う方針です。 |

当社は2013年度決算(決算日：2014年3月31日)を行いました。当資料は2013年度の運用状況をご報告するものです。
3ページ以降は特別勘定レポート(2014年4月発行(2014年3月末現在))からの抜粋となります。最新の運用状況は当社ホームページにてご確認いただけます。

●特別勘定の内容

種類	特別勘定の名称	投資対象となる投資信託	運用会社	運用方針
総 合 型	JP バランス 1006	JP バランスファンド1006 (適格機関投資家限定)	J.P. モルガン・マンサール・ インベストメンツ	特別勘定の資産の成長と中長期的 観点に立った収益の確保を目的とし、 主な投資対象となる投資信託を通じ て実質的に株式および債券を投資対 象として、その配分比率を自動的に 見直す運用を行います。*

*やむを得ない事情が発生した場合には、ご契約者保護の観点から、特別勘定の投資対象や運用方針を変更することがあります。

●特別勘定資産の内訳(2013年度末)

(単位：百万円)

区分	金額
	JP バランス 1006
現預金・コールローン	19
有価証券	539
公社債	－
株式	－
外国証券	539
公社債	－
株式等	539
その他の証券	－
貸付金	－
その他	0
貸倒引当金	－
合計	559

※単位未満切捨て

●特別勘定の運用収支状況(2013年度)

(単位：百万円)

区分	金額
	JP バランス 1006
利息配当金等収入	－
有価証券売却益	7
有価証券償還益	－
有価証券評価益	42
為替差益	－
金融派生商品収益	－
その他の収益	－
有価証券売却損	－
有価証券償還損	－
有価証券評価損	49
為替差損	－
金融派生商品費用	－
その他の費用及び損失	－
収支差額	0

※単位未満切捨て

●有価証券の売買状況(2013年度)

(単位：千口、千円)

特別勘定の名称	銘柄	買付		売付	
		口数	金額	口数	金額
JP バランス 1006	JP バランスファンド1006 (適格機関投資家限定)	－	－	104,098	104,098

※単位未満切捨て

●保有契約高(2013年度末)

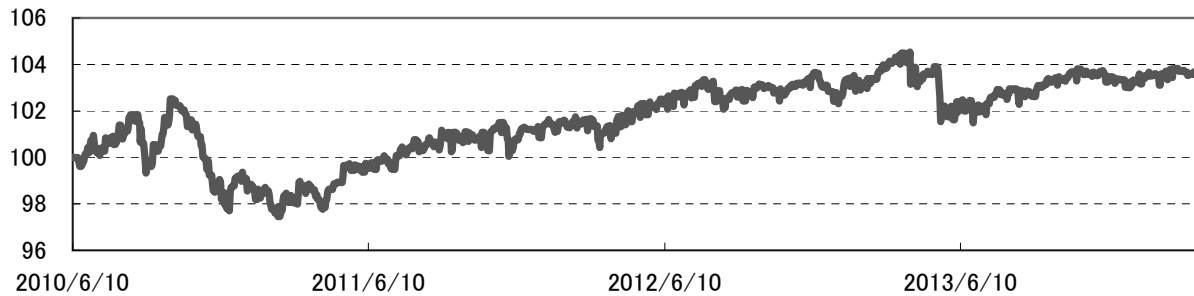
(単位：件、百万円)

項目	件数	金額
変額個人年金保険 GF(VI型) 新 異次元発(JP バランス 1006)	94	559

※単位未満切捨て

特別勘定「JPバランス1006」運用状況

■ ユニットプライスの推移（特別勘定設定日：2010年6月10日）



■ ユニットプライスの騰落率

1か月	3か月	6か月	1年	設定来	2014年3月末現在 ユニットプライス
-0.28%	0.47%	0.25%	-0.93%	3.50%	103.5

■ 特別勘定 純資産総額の内訳

	金額(百万円)	構成比(%)
投資信託等	539	96.4%
現金・その他	19	3.6%
純資産総額	559	100.0%

※金額は単位未満を切り捨て、構成比は小数点第2位を四捨五入して、表示しています。

※ユニットプライスと騰落率は、小数点第3位以下を切り捨てて表示しています。

※ユニットプライス(単位価格)とは、特別勘定資産の積立金の1ユニット(単位)に対する価格のことをいい、特別勘定資産の評価を反映しています。

組入投信「JPバランスファンド1006」運用状況

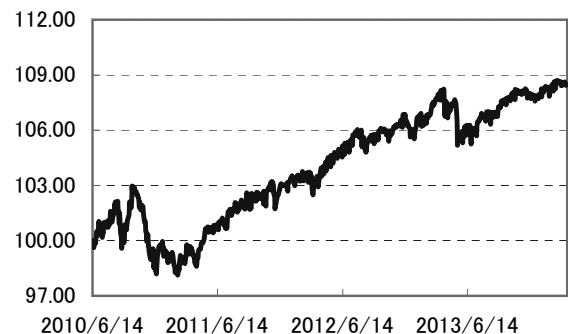
■ ファンド情報（設定日：2010年6月14日）

価格(100口あたり)	108.48円	純資産額	5.4億円
基準指標	108.10	積極投資倍率	3.7倍
バスケットにおける株式資産の 配分比率			4.86%

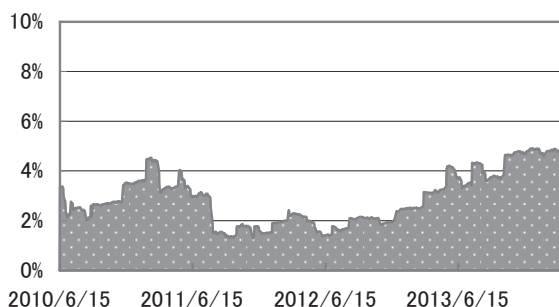
■ 騰落率

1か月	3か月	6か月	1年	設定来
-0.18%	+0.56%	+0.83%	+0.29%	+8.48%

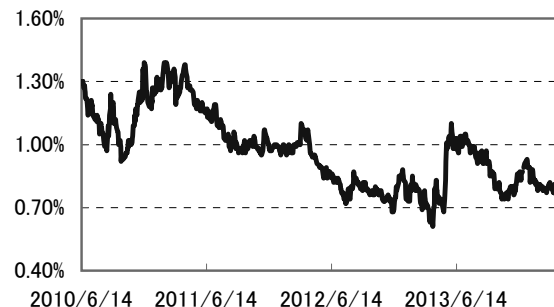
■ 価格(100口あたり)の推移



■ 株式資産の配分比率の推移



■ 参考金利(10年スワップ金利)の推移



※設定日は特別勘定の設定日の2営業日後となります(ただし、海外取引所休業日等で変更になることがあります)。以上の要因等により、特別勘定が投資する投資信託等の値動きは、特別勘定のユニットプライスの値動きとは異なりますのでご注意ください。

■この特別勘定レポートは、東京海上日動フィナンシャル生命の変額個人年金保険の特別勘定の過去の運用状況等を開示するものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。■特別勘定が投資する投資信託の運用状況は、当該投資信託の運用会社からの運用報告を東京海上日動フィナンシャル生命より提供するものであり、東京海上日動フィナンシャル生命はその正確性、完全性を一切保証しません。■巻末に「ご負担いただく費用について」「投資リスクについて」等を記載しておりますので、ご参照ください。

●特別勘定の内容

種類	特別勘定の名称	投資対象となる投資信託	運用会社	運用方針
総合型	JP バランス 1007	JP バランスファンド 1007 (適格機関投資家限定)	J.P. モルガン・マンサール・インベストメンツ	特別勘定の資産の成長と中長期的観点に立った収益の確保を目的とし、主な投資対象となる投資信託を通じて実質的に株式および債券を投資対象として、その配分比率を自動的に見直す運用を行います。*

*やむを得ない事情が発生した場合には、ご契約者保護の観点から、特別勘定の投資対象や運用方針を変更することがあります。

●特別勘定資産の内訳(2013年度末)

(単位：百万円)

区分	金額
	JP バランス 1007
現預金・コールローン	20
有価証券	389
公社債	-
株式	-
外国証券	389
公社債	-
株式等	389
その他の証券	-
貸付金	-
その他	-
貸倒引当金	-
合計	409

※単位未満切捨て

●特別勘定の運用収支状況(2013年度)

(単位：百万円)

区分	金額
	JP バランス 1007
利息配当金等収入	-
有価証券売却益	4
有価証券償還益	-
有価証券評価益	25
為替差益	-
金融派生商品収益	-
その他の収益	-
有価証券売却損	-
有価証券償還損	-
有価証券評価損	29
為替差損	-
金融派生商品費用	-
その他の費用及び損失	-
収支差額	0

※単位未満切捨て

●有価証券の売買状況(2013年度)

(単位：千口、千円)

特別勘定の名称	銘柄	買付		売付	
		口数	金額	口数	金額
JP バランス 1007	JP バランスファンド 1007 (適格機関投資家限定)	-	-	75,208	75,208

※単位未満切捨て

●保有契約高(2013年度末)

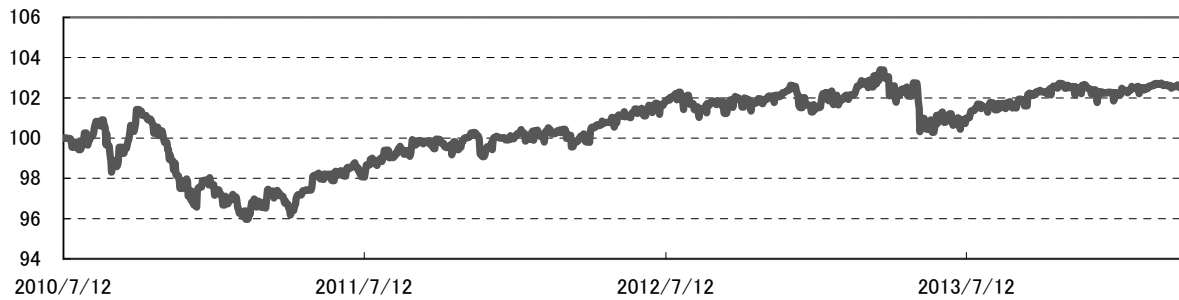
(単位：件、百万円)

項目	件数	金額
変額個人年金保険 GF(VI型) 新 異次元発(JP バランス 1007)	73	403

※単位未満切捨て

特別勘定「JPバランス1007」運用状況

■ ユニットプライスの推移（特別勘定設定日：2010年7月12日）



■ ユニットプライスの騰落率

1か月	3か月	6か月	1年	設定来	2014年3月末現在 ユニットプライス
-0.19%	0.19%	0.35%	-0.88%	2.47%	102.47

■ 特別勘定 純資産総額の内訳

	金額(百万円)	構成比(%)
投資信託等	389	95.1%
現預金・その他	20	4.9%
純資産総額	409	100.0%

※金額は単位未満を切り捨て、構成比は小数点第2位を四捨五入して、表示しています。

※ユニットプライスと騰落率は、小数点第3位以下を切り捨てて表示しています。

※ユニットプライス(単位価格)とは、特別勘定資産の積立金の1ユニット(単位)に対する価格のことをいい、特別勘定資産の評価を反映しています。

組入投信「JPバランスファンド1007」運用状況

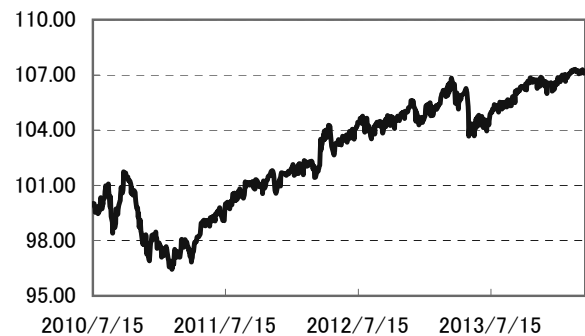
■ ファンド情報（設定日：2010年7月15日）

価格(100口あたり)	107.14円	純資産額	3.8億円
基準指標	106.93	積極投資倍率	3.7倍
バスケットにおける株式資産の 配分比率			2.99%

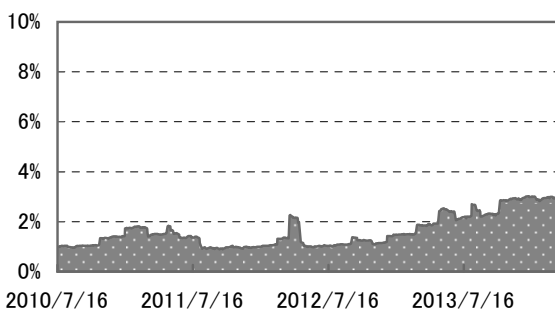
■ 騰落率

1か月	3か月	6か月	1年	設定来
-0.11%	+0.96%	+0.90%	+0.29%	+7.13%

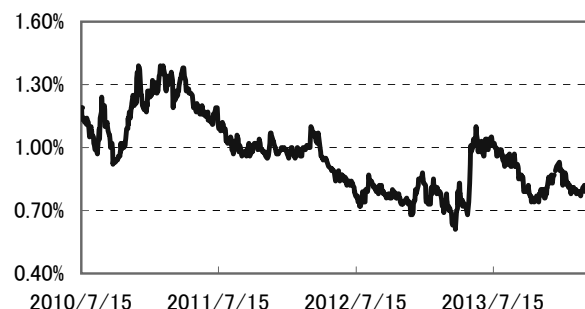
■ 価格(100口あたり)の推移



■ 株式資産の配分比率の推移



■ 参考金利(10年スワップ金利)の推移



※設定日は特別勘定の設定日の2営業日後となります(ただし、海外取引所休業日等で変更になることがあります)。以上の要因等により、特別勘定が投資する投資信託等の値動きは、特別勘定のユニットプライスの値動きとは異なりますのでご注意ください。

■この特別勘定レポートは、東京海上日動フィナンシャル生命の変額個人年金保険の特別勘定の過去の運用状況等を開示するものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。■特別勘定が投資する投資信託の運用状況は、当該投資信託の運用会社からの運用報告を東京海上日動フィナンシャル生命より提供するものであり、東京海上日動フィナンシャル生命はその正確性、完全性を一切保証しません。■巻末に「ご負担いただく費用について」「投資リスクについて」等を記載しておりますので、ご参照ください。

●特別勘定の内容

種類	特別勘定の名称	投資対象となる投資信託	運用会社	運用方針
総 合 型	JP バランス 1008	JP バランスファンド 1008 (適格機関投資家限定)	J.P. モルガン・マンサール・ インベストメンツ	特別勘定の資産の成長と中長期的 観点に立った収益の確保を目的とし、 主な投資対象となる投資信託を通じ て実質的に株式および債券を投資対 象として、その配分比率を自動的に 見直す運用を行います。*

*やむを得ない事情が発生した場合には、ご契約者保護の観点から、特別勘定の投資対象や運用方針を変更することがあります。

●特別勘定資産の内訳(2013年度末)

(単位：百万円)

区分	金額
	JP バランス 1008
現預金・コールローン	18
有価証券	356
公社債	-
株式	-
外国証券	356
公社債	-
株式等	356
その他の証券	-
貸付金	-
その他	0
貸倒引当金	-
合計	374

※単位未満切捨て

●特別勘定の運用収支状況(2013年度)

(単位：百万円)

区分	金額
	JP バランス 1008
利息配当金等収入	-
有価証券売却益	2
有価証券償還益	-
有価証券評価益	18
為替差益	-
金融派生商品収益	-
その他の収益	-
有価証券売却損	-
有価証券償還損	-
有価証券評価損	21
為替差損	-
金融派生商品費用	-
その他の費用及び損失	-
収支差額	0

※単位未満切捨て

●有価証券の売買状況(2013年度)

(単位：千口、千円)

特別勘定の名称	銘柄	買付		売付	
		口数	金額	口数	金額
JP バランス 1008	JP バランスファンド 1008 (適格機関投資家限定)	-	-	61,935	61,935

※単位未満切捨て

●保有契約高(2013年度末)

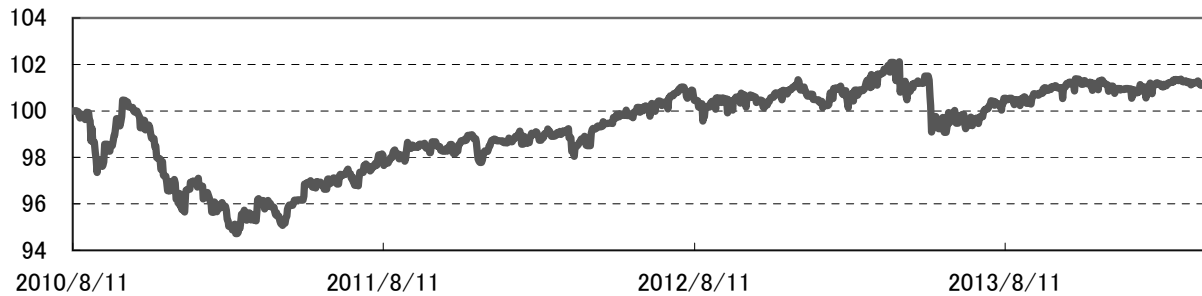
(単位：件、百万円)

項目	件数	金額
変額個人年金保険 GF(VI型) 新 異次元発(JP バランス 1008)	60	377

※単位未満切捨て

特別勘定「JPバランス1008」運用状況

■ ユニットプライスの推移（特別勘定設定日：2010年8月11日）



■ ユニットプライスの騰落率

1か月	3か月	6か月	1年	設定来	2014年3月末現在 ユニットプライス
-0.19%	0.14%	0.22%	-0.95%	1.11%	101.11

■ 特別勘定 純資産総額の内訳

	金額(百万円)	構成比(%)
投資信託等	356	95.2%
現預金・その他	18	4.8%
純資産総額	374	100.0%

※金額は単位未満を切り捨てて、構成比は小数点第2位を四捨五入して、表示しています。

※ユニットプライスと騰落率は、小数点第3位以下を切り捨てて表示しています。

※ユニットプライス(単位価格)とは、特別勘定資産の積立金の1ユニット(単位)に対する価格のことをいい、特別勘定資産の評価を反映しています。

組入投信「JPバランスファンド1008」運用状況

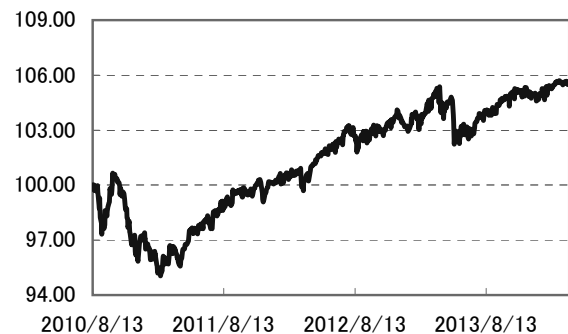
■ ファンド情報（設定日：2010年8月13日）

価格(100口あたり)	105.53円	純資産額	3.5億円
基準指標	105.52	積極投資倍率	3.7倍
バスケットにおける株式資産の 配分比率			2.98%

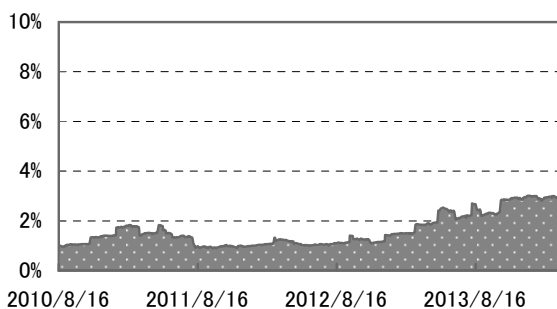
■ 騰落率

1か月	3か月	6か月	1年	設定来
-0.12%	+0.90%	+0.78%	+0.22%	+5.52%

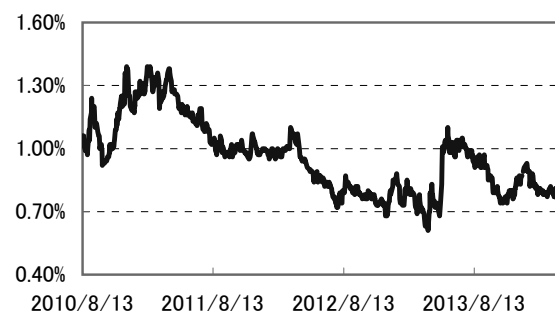
■ 価格(100口あたり)の推移



■ 株式資産の配分比率の推移



■ 参考金利(10年スワップ金利)の推移



※設定日は特別勘定の設定日の2営業日後となります(ただし、海外取引所休業日等で変更になることがあります)。以上の要因等により、特別勘定が投資する投資信託等の値動きは、特別勘定のユニットプライスの値動きとは異なりますのでご注意ください。

■この特別勘定レポートは、東京海上日動フィナンシャル生命の変額個人年金保険の特別勘定の過去の運用状況等を開示するものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。■特別勘定が投資する投資信託の運用状況は、当該投資信託の運用会社からの運用報告を東京海上日動フィナンシャル生命より提供するものであり、東京海上日動フィナンシャル生命はその正確性、完全性を一切保証しません。■巻末に「ご負担いただく費用について」「投資リスクについて」等を記載しておりますので、ご参照ください。

●特別勘定の内容

種類	特別勘定の名称	投資対象となる投資信託	運用会社	運用方針
総合型	JP バランス 1009	JP バランスファンド 1009 (適格機関投資家限定)	J.P. モルガン・マンサール・インベストメンツ	特別勘定の資産の成長と中長期的観点に立った収益の確保を目的とし、主な投資対象となる投資信託を通じて実質的に株式および債券を投資対象として、その配分比率を自動的に見直す運用を行います。*

*やむを得ない事情が発生した場合には、ご契約者保護の観点から、特別勘定の投資対象や運用方針を変更することがあります。

●特別勘定資産の内訳(2013年度末)

(単位：百万円)

区分	金額
	JP バランス 1009
現預金・コールローン	12
有価証券	254
公社債	-
株式	-
外国証券	254
公社債	-
株式等	254
その他の証券	-
貸付金	-
その他	0
貸倒引当金	-
合計	267

※単位未満切捨て

●特別勘定の運用収支状況(2013年度)

(単位：百万円)

区分	金額
	JP バランス 1009
利息配当金等収入	-
有価証券売却益	2
有価証券償還益	-
有価証券評価益	15
為替差益	-
金融派生商品収益	-
その他の収益	-
有価証券売却損	-
有価証券償還損	-
有価証券評価損	18
為替差損	-
金融派生商品費用	-
その他の費用及び損失	-
収支差額	0

※単位未満切捨て

●有価証券の売買状況(2013年度)

(単位：千口、千円)

特別勘定の名称	銘柄	買付		売付	
		口数	金額	口数	金額
JP バランス 1009	JP バランスファンド 1009 (適格機関投資家限定)	-	-	52,141	52,141

※単位未満切捨て

●保有契約高(2013年度末)

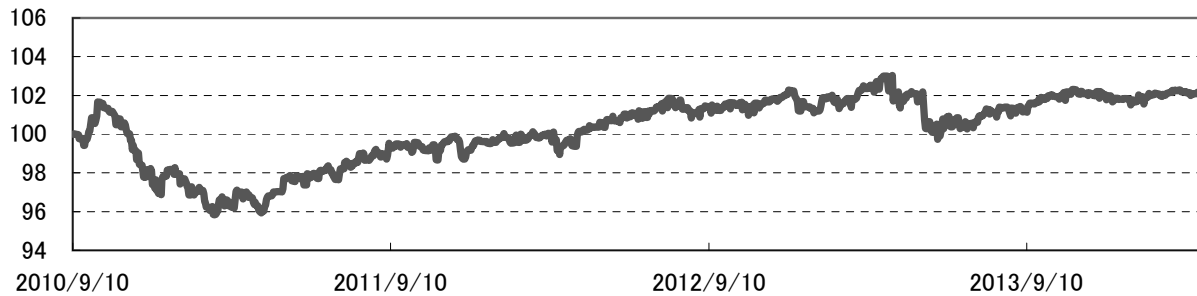
(単位：件、百万円)

項目	件数	金額
変額個人年金保険 GF(VI型) 新 異次元発(JP バランス 1009)	52	266

※単位未満切捨て

特別勘定「JPバランス1009」運用状況

■ ユニットプライスの推移（特別勘定設定日：2010年9月10日）



■ ユニットプライスの騰落率

1か月	3か月	6か月	1年	設定来	2014年3月末現在 ユニットプライス
-0.25%	0.15%	0.20%	-0.97%	1.99%	101.99

■ 特別勘定 純資産総額の内訳

	金額(百万円)	構成比(%)
投資信託等	254	95.2%
現金・その他	12	4.8%
純資産総額	267	100.0%

※金額は単位未満を切り捨て、構成比は小数点第2位を四捨五入して、表示しています。

※ユニットプライスと騰落率は、小数点第3位以下を切り捨てて表示しています。

※ユニットプライス(単位価格)とは、特別勘定資産の積立金の1ユニット(単位)に対する価格のことをいい、特別勘定資産の評価を反映しています。

組入投信「JPバランスファンド1009」運用状況

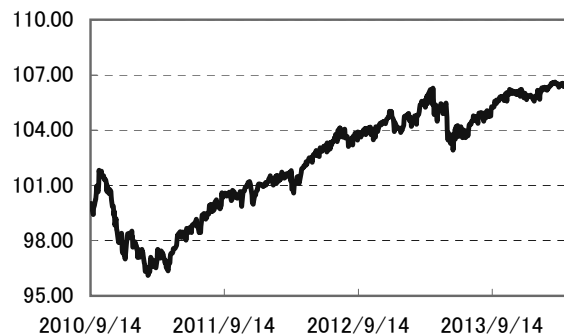
■ ファンド情報（設定日：2010年9月14日）

価格(100口あたり)	106.42円	純資産額	2.5億円
基準指標	106.34	積極投資倍率	3.7倍
バスケットにおける株式資産の 配分比率			2.70%

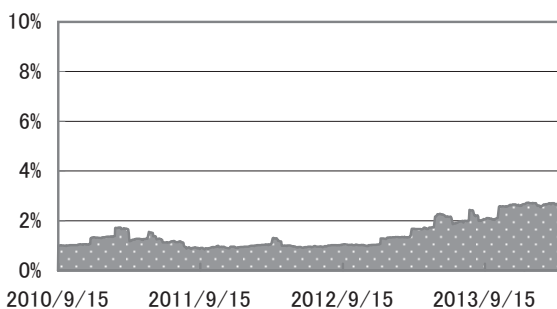
■ 騰落率

1か月	3か月	6か月	1年	設定来
-0.15%	+0.57%	+0.74%	+0.20%	+6.42%

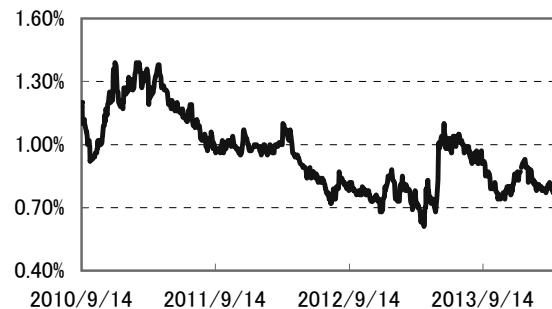
■ 価格(100口あたり)の推移



■ 株式資産の配分比率の推移



■ 参考金利(10年スワップ金利)の推移



※設定日は特別勘定の設定日の2営業日後となります(ただし、海外取引所休業日等で変更になることがあります)。以上の要因等により、特別勘定が投資する投資信託等の値動きは、特別勘定のユニットプライスの値動きとは異なりますのでご注意ください。

■この特別勘定レポートは、東京海上日動フィナンシャル生命の変額個人年金保険の特別勘定の過去の運用状況等を開示するものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。■特別勘定が投資する投資信託の運用状況は、当該投資信託の運用会社からの運用報告を東京海上日動フィナンシャル生命より提供するものであり、東京海上日動フィナンシャル生命はその正確性、完全性を一切保証しません。■巻末に「ご負担いただく費用について」「投資リスクについて」等を記載しておりますので、ご参照ください。

●特別勘定の内容

種類	特別勘定の名称	投資対象となる投資信託	運用会社	運用方針
総合型	JP バランス 1010	JP バランスファンド 1010 (適格機関投資家限定)	J.P. モルガン・マンサール・インベストメンツ	特別勘定の資産の成長と中長期的観点に立った収益の確保を目的とし、主な投資対象となる投資信託を通じて実質的に株式および債券を投資対象として、その配分比率を自動的に見直す運用を行います。*

*やむを得ない事情が発生した場合には、ご契約者保護の観点から、特別勘定の投資対象や運用方針を変更することがあります。

●特別勘定資産の内訳(2013年度末)

(単位：百万円)

区分	金額
	JP バランス 1010
現預金・コールローン	24
有価証券	469
公社債	-
株式	-
外国証券	469
公社債	-
株式等	469
その他の証券	-
貸付金	-
その他	0
貸倒引当金	-
合計	493

※単位未満切捨て

●特別勘定の運用収支状況(2013年度)

(単位：百万円)

区分	金額
	JP バランス 1010
利息配当金等収入	-
有価証券売却益	2
有価証券償還益	-
有価証券評価益	20
為替差益	-
金融派生商品収益	-
その他の収益	-
有価証券売却損	-
有価証券償還損	-
有価証券評価損	22
為替差損	-
金融派生商品費用	-
その他の費用及び損失	-
収支差額	0

※単位未満切捨て

●有価証券の売買状況(2013年度)

(単位：千口、千円)

特別勘定の名称	銘柄	買付		売付	
		口数	金額	口数	金額
JP バランス 1010	JP バランスファンド 1010 (適格機関投資家限定)	-	-	86,645	86,645

※単位未満切捨て

●保有契約高(2013年度末)

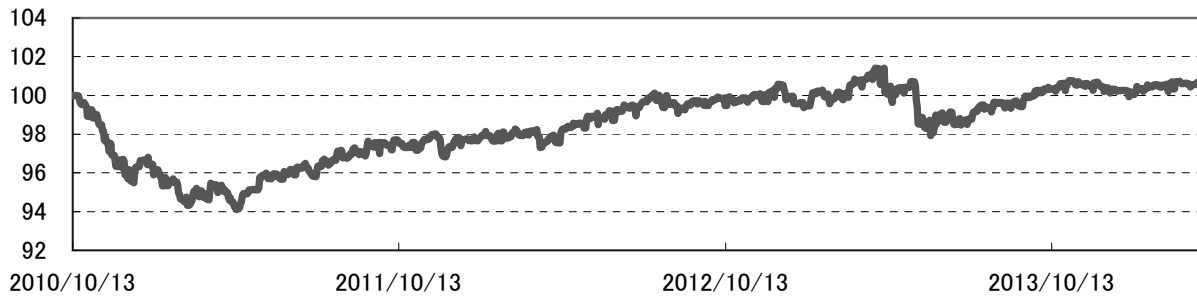
(単位：件、百万円)

項目	件数	金額
変額個人年金保険 GF(VI型) 新 異次元発(JP バランス 1010)	88	500

※単位未満切捨て

特別勘定「JPバランス1010」運用状況

■ ユニットプライスの推移（特別勘定設定日：2010年10月13日）



■ ユニットプライスの騰落率

1か月	3か月	6か月	1年	設定来	2014年3月末現在 ユニットプライス
-0.18%	0.24%	0.37%	-0.88%	0.50%	100.50

■ 特別勘定 純資産総額の内訳

	金額(百万円)	構成比(%)
投資信託等	469	95.1%
現預金・その他	24	4.9%
純資産総額	493	100.0%

※金額は単位未満を切り捨てて、構成比は小数点第2位を四捨五入して、表示しています。

※ユニットプライスと騰落率は、小数点第3位以下を切り捨てて表示しています。

※ユニットプライス(単位価格)とは、特別勘定資産の積立金の1ユニット(単位)に対する価格のことをいい、特別勘定資産の評価を反映しています。

組入投信「JPバランスファンド1010」運用状況

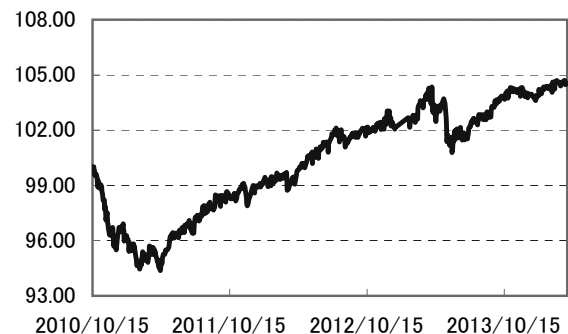
■ ファンド情報（設定日：2010年10月15日）

価格(100口あたり)	104.56円	純資産額	4.6億円
基準指標	104.61	積極投資倍率	3.6倍
バスケットにおける株式資産の 配分比率			2.49%

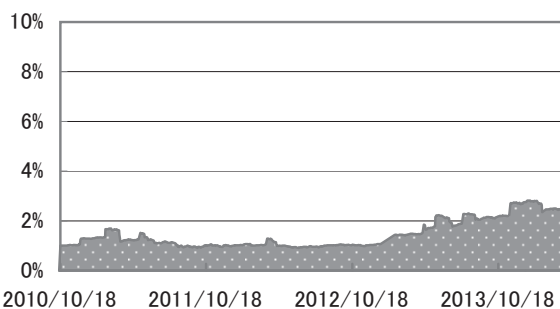
■ 騰落率

1か月	3か月	6か月	1年	設定来
-0.09%	+0.70%	+0.89%	+0.25%	+4.56%

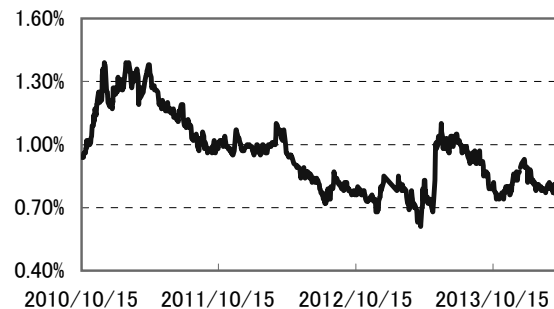
■ 価格(100口あたり)の推移



■ 株式資産の配分比率の推移



■ 参考金利(10年スワップ金利)の推移



※設定日は特別勘定の設定日の2営業日後となります(ただし、海外取引所休業日等で変更になることがあります)。以上の要因等により、特別勘定が投資する投資信託等の値動きは、特別勘定のユニットプライスの値動きとは異なりますのでご注意ください。

■この特別勘定レポートは、東京海上日動フィナンシャル生命の変額個人年金保険の特別勘定の過去の運用状況等を開示するものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。■特別勘定が投資する投資信託の運用状況は、当該投資信託の運用会社からの運用報告を東京海上日動フィナンシャル生命より提供するものであり、東京海上日動フィナンシャル生命はその正確性、完全性を一切保証しません。■巻末に「ご負担いただく費用について」「投資リスクについて」等を記載しておりますので、ご参照ください。

●特別勘定の内容

種類	特別勘定の名称	投資対象となる投資信託	運用会社	運用方針
総 合 型	JP バランス 1011	JP バランスファンド 1011 (適格機関投資家限定)	J.P. モルガン・マンサール・ インベストメンツ	特別勘定の資産の成長と中長期的 観点に立った収益の確保を目的とし、 主な投資対象となる投資信託を通じ て実質的に株式および債券を投資対 象として、その配分比率を自動的に 見直す運用を行います。*

*やむを得ない事情が発生した場合には、ご契約者保護の観点から、特別勘定の投資対象や運用方針を変更することがあります。

●特別勘定資産の内訳(2013年度末)

(単位：百万円)

区分	金額
	JP バランス 1011
現預金・コールローン	7
有価証券	156
公社債	-
株式	-
外国証券	156
公社債	-
株式等	156
その他の証券	-
貸付金	-
その他	0
貸倒引当金	-
合計	163

※単位未満切捨て

●特別勘定の運用収支状況(2013年度)

(単位：百万円)

区分	金額
	JP バランス 1011
利息配当金等収入	-
有価証券売却益	1
有価証券償還益	-
有価証券評価益	9
為替差益	-
金融派生商品収益	-
その他の収益	-
有価証券売却損	-
有価証券償還損	-
有価証券評価損	10
為替差損	-
金融派生商品費用	-
その他の費用及び損失	-
収支差額	0

※単位未満切捨て

●有価証券の売買状況(2013年度)

(単位：千口、千円)

特別勘定の名称	銘柄	買付		売付	
		口数	金額	口数	金額
JP バランス 1011	JP バランスファンド 1011 (適格機関投資家限定)	-	-	31,890	31,890

※単位未満切捨て

●保有契約高(2013年度末)

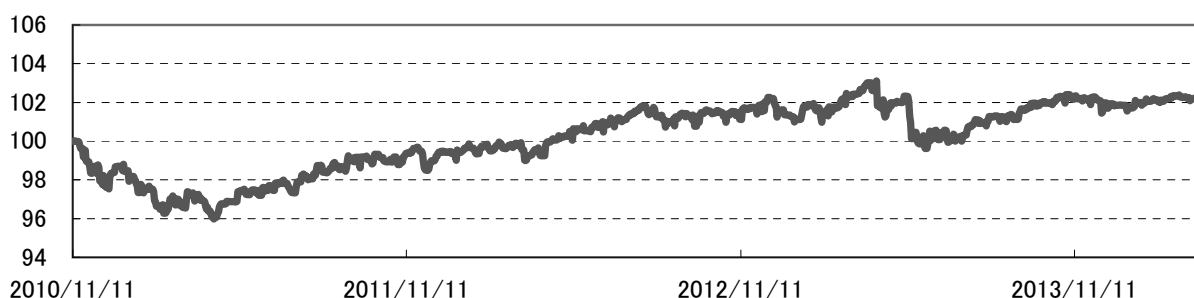
(単位：件、百万円)

項目	件数	金額
変額個人年金保険 GF(VI型) 新 異次元発(JP バランス 1011)	32	163

※単位未満切捨て

特別勘定「JPバランス1011」運用状況

■ ユニットプライスの推移（特別勘定設定日：2010年11月11日）



■ ユニットプライスの騰落率

1か月	3か月	6か月	1年	設定来	2014年3月末現在 ユニットプライス
-0.21%	0.24%	0.30%	-0.87%	2.10%	102.10

■ 特別勘定 純資産総額の内訳

	金額(百万円)	構成比(%)
投資信託等	156	95.3%
現預金・その他	7	4.7%
純資産総額	163	100.0%

※金額は単位未満を切り捨てて、構成比は小数点第2位を四捨五入して、表示しています。

※ユニットプライスと騰落率は、小数点第3位以下を切り捨てて表示しています。

※ユニットプライス(単位価格)とは、特別勘定資産の積立金の1ユニット(単位)に対する価格のことをいい、特別勘定資産の評価を反映しています。

組入投信「JPバランスファンド1011」運用状況

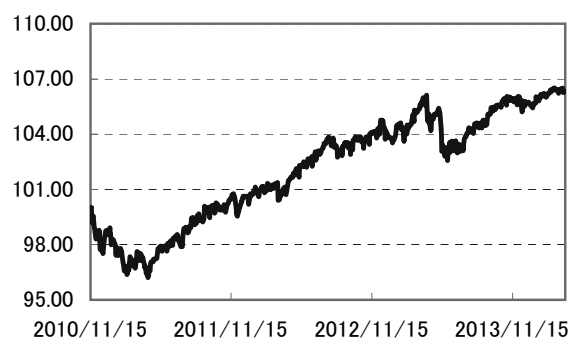
■ ファンド情報（設定日：2010年11月15日）

価格(100口あたり)	106.32円	純資産額	1.5億円
基準指標	106.35	積極投資倍率	3.6倍
バスケットにおける株式資産の 配分比率			2.42%

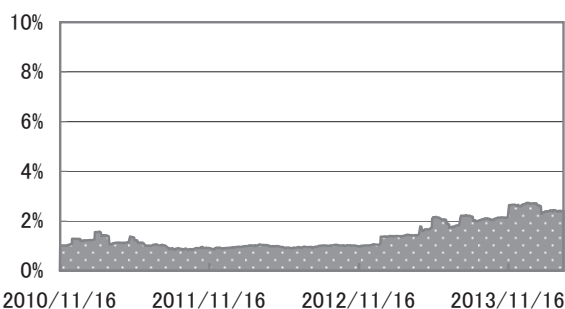
■ 騰落率

1か月	3か月	6か月	1年	設定来
-0.13%	+0.67%	+0.88%	+0.31%	+6.31%

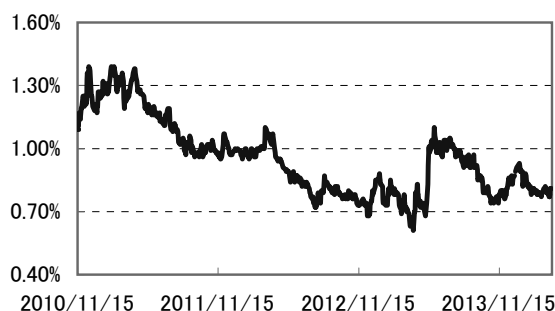
■ 価格(100口あたり)の推移



■ 株式資産の配分比率の推移



■ 参考金利(10年スワップ金利)の推移



※設定日は特別勘定の設定日の2営業日後となります(ただし、海外取引所休業日等で変更になることがあります)。以上の要因等により、特別勘定が投資する投資信託等の値動きは、特別勘定のユニットプライスの値動きとは異なりますのでご注意ください。

■この特別勘定レポートは、東京海上日動フィナンシャル生命の変額個人年金保険の特別勘定の過去の運用状況等を開示するものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。■特別勘定が投資する投資信託の運用状況は、当該投資信託の運用会社からの運用報告を東京海上日動フィナンシャル生命より提供するものであり、東京海上日動フィナンシャル生命はその正確性、完全性を一切保証しません。■巻末に「ご負担いただく費用」

●特別勘定の内容

種類	特別勘定の名称	投資対象となる投資信託	運用会社	運用方針
総合型	JP バランス 1012	JP バランスファンド 1012 (適格機関投資家限定)	J.P. モルガン・マンサール・インベストメンツ	特別勘定の資産の成長と中長期的観点に立った収益の確保を目的とし、主な投資対象となる投資信託を通じて実質的に株式および債券を投資対象として、その配分比率を自動的に見直す運用を行います。*

*やむを得ない事情が発生した場合には、ご契約者保護の観点から、特別勘定の投資対象や運用方針を変更することがあります。

●特別勘定資産の内訳(2013年度末)

(単位：百万円)

区分	金額
	JP バランス 1012
現預金・コールローン	9
有価証券	185
公社債	-
株式	-
外国証券	185
公社債	-
株式等	185
その他の証券	-
貸付金	-
その他	0
貸倒引当金	-
合計	195

※単位未満切捨て

●特別勘定の運用収支状況(2013年度)

(単位：百万円)

区分	金額
	JP バランス 1012
利息配当金等収入	-
有価証券売却益	2
有価証券償還益	-
有価証券評価益	15
為替差益	-
金融派生商品収益	-
その他の収益	-
有価証券売却損	-
有価証券償還損	-
有価証券評価損	16
為替差損	-
金融派生商品費用	-
その他の費用及び損失	-
収支差額	1

※単位未満切捨て

●有価証券の売買状況(2013年度)

(単位：千口、千円)

特別勘定の名称	銘柄	買付		売付	
		口数	金額	口数	金額
JP バランス 1012	JP バランスファンド 1012 (適格機関投資家限定)	-	-	28,408	28,408

※単位未満切捨て

●保有契約高(2013年度末)

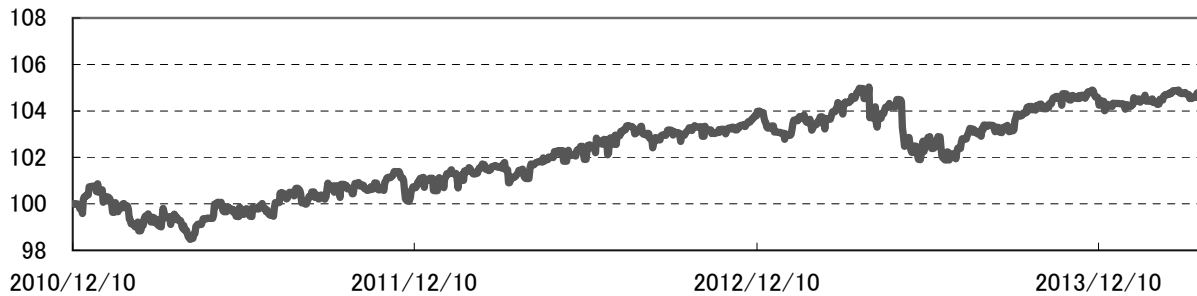
(単位：件、百万円)

項目	件数	金額
変額個人年金保険 GF(VI型) 新 異次元発(JP バランス 1012)	29	194

※単位未満切捨て

特別勘定「JPバランス1012」運用状況

■ユニットプライスの推移（特別勘定設定日：2010年12月10日）



■ユニットプライスの騰落率

1か月	3か月	6か月	1年	設定来	2014年3月末現在 ユニットプライス
-0.31%	0.21%	0.47%	-0.40%	4.54%	104.54

■特別勘定 純資産総額の内訳

	金額(百万円)	構成比(%)
投資信託等	185	95.3%
現預金・その他	9	4.7%
純資産総額	195	100.0%

※金額は単位未満を切り捨てて、構成比は小数点第2位を四捨五入して、表示しています。

※ユニットプライスと騰落率は、小数点第3位以下を切り捨てて表示しています。

※ユニットプライス(単位価格)とは、特別勘定資産の積立金の1ユニット(単位)に対する価格のことをいい、特別勘定資産の評価を反映しています。

組入投信「JPバランスファンド1012」運用状況

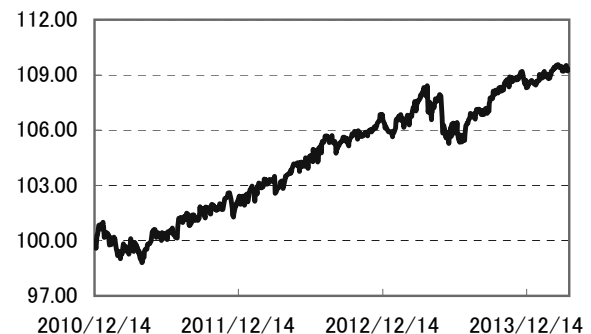
■ファンド情報（設定日：2010年12月14日）

価格(100口あたり)	109.30円	純資産額	1.8億円
基準指標	107.96	積極投資倍率	3.8倍
バスケットにおける株式資産の 配分比率			7.60%

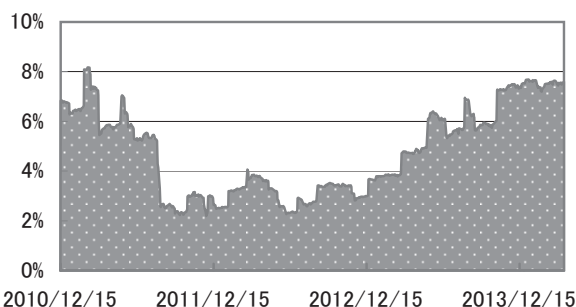
■騰落率

1か月	3か月	6か月	1年	設定来
-0.21%	+0.67%	+1.11%	+0.91%	+9.30%

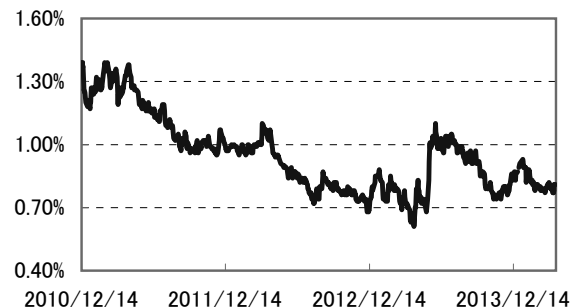
■価格(100口あたり)の推移



■株式資産の配分比率の推移



■参考金利(10年スワップ金利)の推移



※設定日は特別勘定の設定日の2営業日後となります(ただし、海外取引所休業日等で変更になることがあります)。以上の要因等により、特別勘定が投資する投資信託等の値動きは、特別勘定のユニットプライスの値動きとは異なりますのでご注意ください。

■この特別勘定レポートは、東京海上日動フィナンシャル生命の変額個人年金保険の特別勘定の過去の運用状況等を開示するものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。■特別勘定が投資する投資信託の運用状況は、当該投資信託の運用会社からの運用報告を東京海上日動フィナンシャル生命より提供するものであり、東京海上日動フィナンシャル生命はその正確性、完全性を一切保証しません。■巻末に「ご負担いただく費用について」「投資リスクについて」等を記載しておりますので、ご参照ください。

●特別勘定の内容

種類	特別勘定の名称	投資対象となる投資信託	運用会社	運用方針
総 合 型	JP バランス 1101	JP バランスファンド1101 (適格機関投資家限定)	J.P. モルガン・マンサール・ インベストメンツ	特別勘定の資産の成長と中長期的 観点に立った収益の確保を目的とし、 主な投資対象となる投資信託を通じ て実質的に株式および債券を投資対 象として、その配分比率を自動的に 見直す運用を行います。*

*やむを得ない事情が発生した場合には、ご契約者保護の観点から、特別勘定の投資対象や運用方針を変更することがあります。

●特別勘定資産の内訳(2013年度末)

(単位：百万円)

区分	金額
	JP バランス 1101
現預金・コールローン	4
有価証券	81
公社債	-
株式	-
外国証券	81
公社債	-
株式等	81
その他の証券	-
貸付金	-
その他	0
貸倒引当金	-
合計	85

※単位未満切捨て

●特別勘定の運用収支状況(2013年度)

(単位：百万円)

区分	金額
	JP バランス 1101
利息配当金等収入	-
有価証券売却益	1
有価証券償還益	-
有価証券評価益	6
為替差益	-
金融派生商品収益	-
その他の収益	-
有価証券売却損	-
有価証券償還損	-
有価証券評価損	7
為替差損	-
金融派生商品費用	-
その他の費用及び損失	-
収支差額	0

※単位未満切捨て

●有価証券の売買状況(2013年度)

(単位：千口、千円)

特別勘定の名称	銘柄	買付		売付	
		口数	金額	口数	金額
JP バランス 1101	JP バランスファンド1101 (適格機関投資家限定)	-	-	14,145	14,145

※単位未満切捨て

●保有契約高(2013年度末)

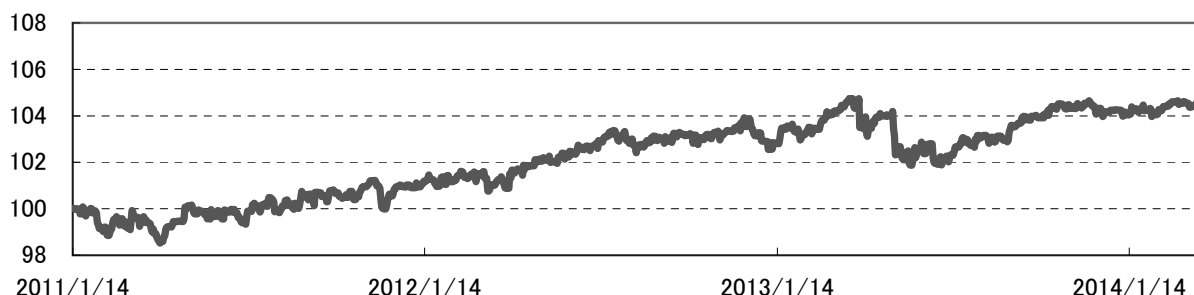
(単位：件、百万円)

項目	件数	金額
変額個人年金保険 GF(VI型) 新 異次元発(JP バランス 1101)	17	85

※単位未満切捨て

特別勘定「JPバランス1101」運用状況

■ ユニットプライスの推移（特別勘定設定日：2011年1月14日）



■ ユニットプライスの騰落率

1か月	3か月	6か月	1年	設定来	2014年3月末現在 ユニットプライス
-0.21%	0.10%	0.52%	-0.35%	4.37%	104.37

■ 特別勘定 純資産総額の内訳

	金額(百万円)	構成比(%)
投資信託等	81	95.0%
現金・その他	4	5.0%
純資産総額	85	100.0%

※ 金額は単位未満を切り捨てて、構成比は小数点第2位を四捨五入して、表示しています。

※ ユニットプライスと騰落率は、小数点第3位以下を切り捨てて表示しています。

※ ユニットプライス(単位価格)とは、特別勘定資産の積立金の1ユニット(単位)に対する価格のことをいい、特別勘定資産の評価を反映しています。

組入投信「JPバランスファンド1101」運用状況

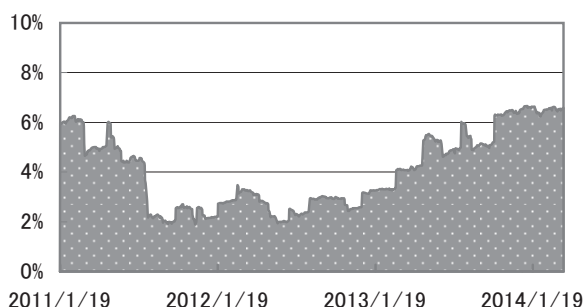
■ ファンド情報（設定日：2011年1月18日）

価格(100口あたり)	108.86円	純資産額	0.8億円
基準指標	107.53	積極投資倍率	3.7倍
バスケットにおける株式資産の 配分比率			6.58%

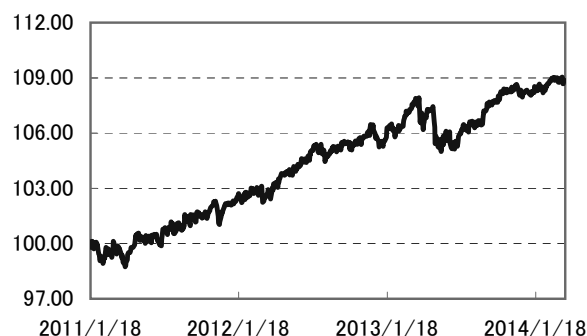
■ 騰落率

1か月	3か月	6か月	1年	設定来
-0.11%	+0.60%	+1.18%	+0.89%	+8.86%

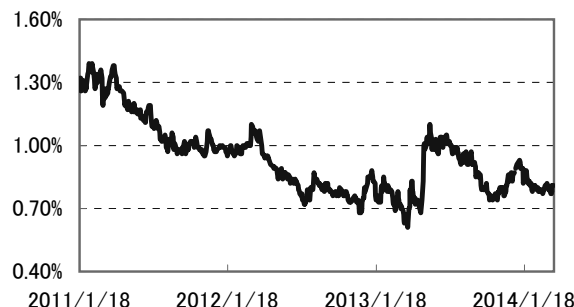
■ 株式資産の配分比率の推移



■ 価格(100口あたり)の推移



■ 参考金利(10年スワップ金利)の推移



※ 設定日は特別勘定の設定日の2営業日後となります(ただし、海外取引所休業日等で変更になることがあります)。以上の要因等により、特別勘定が投資する投資信託等の値動きは、特別勘定のユニットプライスの値動きとは異なりますのでご注意ください。

■ この特別勘定レポートは、東京海上日動フィナンシャル生命の変額個人年金保険の特別勘定の過去の運用状況等を開示するものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。■ 特別勘定が投資する投資信託の運用状況は、当該投資信託の運用会社からの運用報告を東京海上日動フィナンシャル生命より提供するものであり、東京海上日動フィナンシャル生命はその正確性、完全性を一切保証しません。■ 巻末に「ご負担いただく費用について」「投資リスクについて」等を記載しておりますので、ご参照ください。

●特別勘定の内容

種類	特別勘定の名称	投資対象となる投資信託	運用会社	運用方針
総 合 型	JP バランス 1102	JP バランスファンド1102 (適格機関投資家限定)	J.P. モルガン・マンサール・ インベストメンツ	特別勘定の資産の成長と中長期的 観点に立った収益の確保を目的とし、 主な投資対象となる投資信託を通じ て実質的に株式および債券を投資対 象として、その配分比率を自動的に 見直す運用を行います。*

*やむを得ない事情が発生した場合には、ご契約者保護の観点から、特別勘定の投資対象や運用方針を変更することがあります。

●特別勘定資産の内訳(2013年度末)

(単位：百万円)

区分	金額
	JP バランス 1102
現預金・コールローン	2
有価証券	53
公社債	-
株式	-
外国証券	53
公社債	-
株式等	53
その他の証券	-
貸付金	-
その他	0
貸倒引当金	-
合計	55

※単位未満切捨て

●特別勘定の運用収支状況(2013年度)

(単位：百万円)

区分	金額
	JP バランス 1102
利息配当金等収入	-
有価証券売却益	-
有価証券償還益	-
有価証券評価益	4
為替差益	-
金融派生商品収益	-
その他の収益	-
有価証券売却損	-
有価証券償還損	-
有価証券評価損	4
為替差損	-
金融派生商品費用	-
その他の費用及び損失	-
収支差額	0

※単位未満切捨て

●有価証券の売買状況(2013年度)

(単位：千口、千円)

特別勘定の名称	銘柄	買付		売付	
		口数	金額	口数	金額
JP バランス 1102	JP バランスファンド1102 (適格機関投資家限定)	-	-	-	-

※2013年度の売買実績はありません。

●保有契約高(2013年度末)

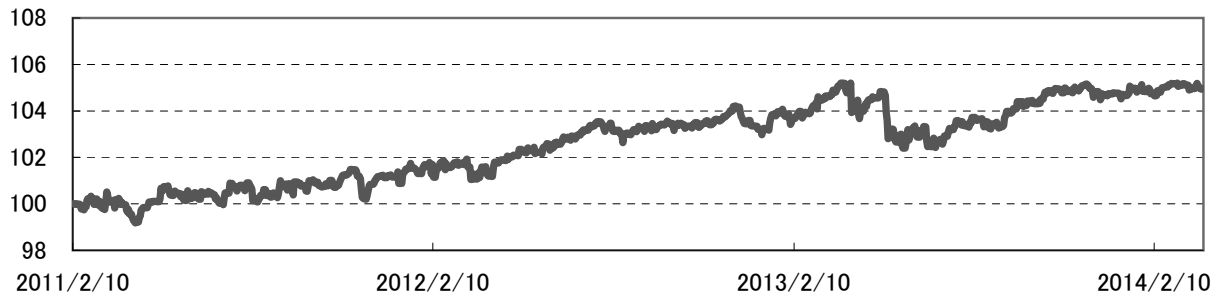
(単位：件、百万円)

項目	件数	金額
変額個人年金保険 GF(VI型) 新 異次元発(JP バランス 1102)	14	55

※単位未満切捨て

特別勘定「JPバランス1102」運用状況

■ ユニットプライスの推移（特別勘定設定日：2011年2月10日）



■ ユニットプライスの騰落率

1か月	3か月	6か月	1年	設定来	2014年3月末現在 ユニットプライス
-0.19%	0.18%	0.74%	-0.21%	4.96%	104.96

■ 特別勘定 純資産総額の内訳

	金額(百万円)	構成比(%)
投資信託等	53	95.9%
現預金・その他	2	4.1%
純資産総額	55	100.0%

※金額は単位未満を切り捨てて、構成比は小数点第2位を四捨五入して、表示しています。

※ユニットプライスと騰落率は、小数点第3位以下を切り捨てて表示しています。

※ユニットプライス(単位価格)とは、特別勘定資産の積立金の1ユニット(単位)に対する価格のことをいい、特別勘定資産の評価を反映しています。

組入投信「JPバランスファンド1102」運用状況

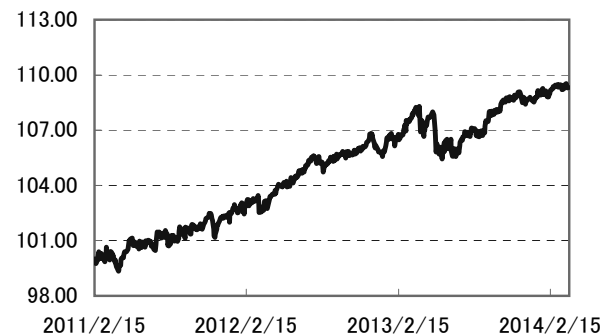
■ ファンド情報（設定日：2011年2月15日）

価格(100口あたり)	109.31円	純資産額	0.5億円
基準指標	107.46	積極投資倍率	3.8倍
バスケットにおける株式資産の 配分比率			8.01%

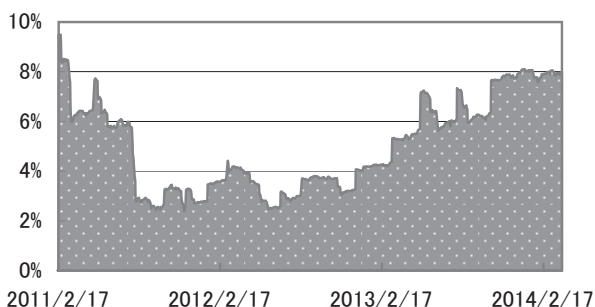
■ 騰落率

1か月	3か月	6か月	1年	設定来
-0.10%	+0.60%	+1.27%	+0.97%	+9.31%

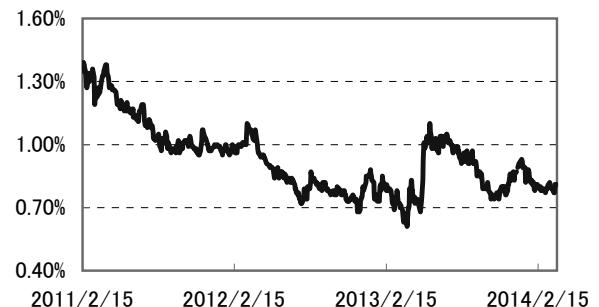
■ 価格(100口あたり)の推移



■ 株式資産の配分比率の推移



■ 参考金利(10年スワップ金利)の推移



※設定日は特別勘定の設定日の2営業日後となります(ただし、海外取引所休業日等で変更になることがあります)。以上の要因等により、特別勘定が投資する投資信託等の値動きは、特別勘定のユニットプライスの値動きとは異なりますのでご注意ください。

■この特別勘定レポートは、東京海上日動フィナンシャル生命の変額個人年金保険の特別勘定の過去の運用状況等を開示するものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。■特別勘定が投資する投資信託の運用状況は、当該投資信託の運用会社からの運用報告を東京海上日動フィナンシャル生命より提供するものであり、東京海上日動フィナンシャル生命はその正確性、完全性を一切保証しません。■巻末に「ご負担いただく費用について」「投資リスクについて」等を記載しておりますので、ご参照ください。

ご負担いただく費用について

この商品にかかる費用の合計額は、下記「保険関係費用」および「資産運用関係費用」の合計額となります。また、契約日から1年未満の解約または一部引出には別途「解約控除」がかかります。

■積立期間中の費用

項目	費用の概要と適用方法	費用
保険関係費用 (保険契約管理費)	この保険の維持、管理等に必要な費用で、死亡保険金額および年金原資を最低保証するための費用等を含みます。 費用は日割換算(1/365(日))して毎日控除します。	次の①②を合計したものであり、株式資産が多いときに費用は高く、少ないときに費用は低くなります。 ①特別勘定の純資産総額に対して年率 1.00% ②特別勘定の株式資産相当額に対して年率 2.50%
資産運用関係費用 (資産運用管理費)*1	保険関係費用以外で、特別勘定の運用にかかる費用です。 費用は日割換算(1/365(日))して毎日控除します。	次の①②を合計したものであり、株式資産が多いときに費用は高く、少ないときに費用は低くなります。 ①特別勘定の投資対象となる投資信託の純資産総額に対して年率 0.35% 程度 ②特別勘定の投資対象となる投資信託の株式資産相当額に対して年率 1.20% 程度

*1 資産運用関係費用は、主な投資対象となる投資信託の受託会社報酬率等を記載しています。その他、有価証券等の売買および保有に関する費用がかかりますが、費用の発生前に金額や計算方法を確定することが困難なため表示することができません。また、資産運用関係費用は、運用手法の変更等により将来変更される可能性があります。

■契約日から1年未満に解約または積立金の一部引出をした場合の費用

契約日から1年後の年単位の契約応当日の前日までの間に、解約または積立金の一部引出をした場合、次の費用をご負担いただきます。

項目	費用の概要と適用方法
解約控除*2	解約時に、基本保険金額に対して1.0%を特別勘定の積立金額から控除します。 一部引出時に、一部引出により減額される基本保険金額に対して1.0%を一部引出額から控除します。

*2 保険料を特別勘定へ繰り入れる日(契約日から契約日を含めて8営業日目)以前には、解約控除を適用しません。

■年金受取期間中の費用(主契約および年金支払特約) ※以下の内容は、将来変更になることがあります。

項目	費用の概要と適用方法
保険関係費用*3 (年金管理費)	この保険の維持、管理等に必要な費用です。 年金受取開始日以降、受取年金額に対して1.0%を毎年の年金受取日に責任準備金から控除します。

*3 年金額は、年金受取開始日以降、年金のお支払いとともに費用を控除する前提で算出されておりますので、年金受取時にあらためて保険関係費用が年金額から差し引かれるものではありません。

投資リスクについて

この商品は、将来受け取る年金額、解約払戻金額、死亡保険金額等が特別勘定の運用実績に基づいて増減するしくみの生命保険(変額個人年金保険)です。特別勘定は、主な投資対象となる投資信託を通じてスワップ取引等を活用し、実質的に株式・債券を投資対象としますので、ご契約者は収益を期待できる一方、価格変動リスク、金利変動リスク、信用リスク等の投資リスクを負うことになります。そのため、運用実績およびご負担いただく費用により、解約払戻金等のお受け取りになる金額の合計額が、一時払保険料の額を下回り、損失が生じるおそれがあります。なお、投資リスク等については「特別勘定のしおり」に詳しく記載しておりますのでご確認ください。

ご注意いただきたい事項

- 「投資型年金保険 新 異次元発(変額個人年金保険GF(VI型))」は、東京海上日動フィナンシャル生命保険株式会社を引受保険会社とする生命保険です。預金とは異なり、元本保証はありません。また、預金保険制度の対象ではありません。
- 「投資型年金保険 新 異次元発(変額個人年金保険GF(VI型))」の年金原資には基本保険金額に「年金原資保証率」を乗じた金額の最低保証がありますが、年金原資が保証されるためには、積立期間(契約日から10年間)満了まで運用いただくことが必要です。積立期間中に解約・積立金の一部引出をした場合の解約払戻金額には最低保証はありません。

商品の内容に関しては「ご契約のしおり・約款」、「特別勘定のしおり」等をご覧ください。

【募集代理店】	【引受保険会社】 東京海上日動フィナンシャル生命保険株式会社 〒167-0043 東京都杉並区上荻一丁目2番1号 インテグラルタワー TEL 03-6383-6811(大代表) ホームページ http://www.tmn-financial.co.jp ご契約内容・各種手続きに関するお問い合わせは 0120-155-730 受付時間: 月～金/9:00～17:00 (祝日および12月31日～1月3日は休業とさせていただきます。)
---------	---